

■発行日：2016年2月25日
■発行所：栃木県中小企業家同友会
〒321-0968 栃木県宇都宮市中今泉2-3-13
TEL 028-612-3826 FAX 028-612-3827
E-mail: t-doyu@ninus.ocn.ne.jp
URL: http://www.tochigi.doyu.jp/
■企画編集：広報委員会 ■印刷：有限会社 赤札堂印刷所

News Topic 01

全国の話

～第27回社員教育活動全国交流会(山形)参加報告～

子供たちから「すごい」と 思われる経営者を目指そう！

昨年11月19～20日の社員教育活動全国交流会の記念講演会には感動した。

今の進路指導は、小さい会社より大きい会社、そこに入るにはどうしたらよいかということが中心になっていると思う。親の会社を継いだり、自分で起業するという選択肢もあるということを、教わることの頻度は少ないように感じる。

講演者は筑波大学名誉教授で、茨城県美浦村の教育長の門脇厚司先生であった。先生の村では、小学6年生にキッズカンパニーという授業が行われている。自分たちで事業を計画し、地元の銀行

に資金を借りに行く。計画の拙策を指摘され泣き出す子もいるという。そして事業化、借金を返済、決算報告、利益が出れば最後はその村に納税まで行われる。



門脇厚司氏の記念講演

プロのサッカー選手や野球選手は小学生のころから決めていた者が多いようだが、我々もそんな後輩が多数出てくるのを望みたい。

【報告】代表理事 八木 仁／(株)シンデン

News Topic 02

栃木の話

～共に育つ経営研究部会から～

今期の経営指針セミナーが 滞りなく全日程を終了

今年1月16日(土)に東市民活動センターにて第5回の経営指針セミナーを開催した。今回は12名が参加して(株)ウイステリアコンパスの斎藤秀樹社長の講義を聞いた。

前回の第4回では経営危機に陥ったスラムタンク社が順調に会社の建て直しに向かった。今回は長期計画を立てるということで、実際に長期的な計画改善を行った日産自動車や杉山フルーツを事例に、計画の重要性や会社を立て直す上での優先順位のあり方を学んでいった。日産自動車ではリバイバルプラン前と後の華麗なる変身を、杉山フルーツでは青果店からフルーツギフトそしてフ

ルーツアーティストへと華麗に変化していく会社の形を学んだ。

最終回の2月6日は受講生のそれぞれが自社の経営指針を発表して今期の経営指針セミナーの締めくくった。長期間参加してくれた皆様、ありがとうございました。次回は6月から新期の経営指針セミナーを開催する予定。一緒に学びましょう！

【報告】共に育つ経営研究部会長
石網知進／(株)共立



最終回の経営指針発表のひとコマ

県例会の お知らせ

3月

今月は各支部総会のため
県例会はありません。

4月

第31回定時総会

【開催日】4/22(金)
【会 場】ベルヴィ宇都宮 (宿郷)
①定時総会 16:30～
②記念講演 17:00～
【報告者】矢田部錦四郎氏

(有)矢田部車体工業 代表取締役
(福島県中小企業家同友会)
③懇親会 18:10～
※定時総会、記念講演は無料。
懇親会は会費5,000円
※出欠の締め切りは4月15日まで

わが社発展のカギは同友会にあった ～学びの社風・社員の育て方～

昨年12月の県例会はとちぎ福祉プラザ（宇都宮市若草）にて開催された。

千葉県中小企業家同友会の代表理事・山本克己氏（株）ストラクス代表取締役）を報告者に迎え、同友会で学んで自社を変革してきた事例のほか、事業承継をどのように考え実践してきたかについての話を聞いた。非常に明るい人柄で、話を聞いているだけでも明るい気分になり「自分も頑張ろう!!」とパワーをもらった。

会社発展のカギは同友会がきっかけとなったそう

で、さまざまな同友会会員と交流しながら、社員と共に経営指針や社員教育などを実践してきた成果であり、同友会組織でも会社でも「皆が常に力を合わせて歩いて行くことが大切である」と語った。そして、「人間がその気になったらできないことはない!」と力強い発言も。現在、後継者づくりにも力を入れている山本社長に負けないよう、我々も努力していきたいと思った。

〔報告〕 植木 稔／S M B C日興証券(株)



山本克己氏

■活動報告 02 **共に育つ経営研究部会** ～1月県例会～

わが社発展のカギは同友会にあった ～企業づくりと地域づくり～

今年1月26日、宇都宮市東市民活動センターにおいて1月県例会が開催された。埼玉県中小企業家同友会の元代表理事である(株)アライの新井俊雄氏を報告者に迎え、「企業づくりと地域づくり」をテーマに話を聞いた。

現在でこそ多岐にわたる事業を展開する同社だが、設立当初からそうであったわけではない。本拠地の川口市は古くから味噌の醸造が盛んだったこと、埼玉県内には造り酒屋がたくさんあること、郊外では農業が盛んであること等々、地元ではない我々に

としてはもちろん、地元の人たちにもあまり認知されていないのではないかと思われる事実がたくさんあり驚かされた。

同社はそれらを経営資源として生かし、さらには障がい者雇用にまでつなげるなど、まさに脱帽というのが最大の感想であり、我々中小企業家にとって示唆に富んだ報告であった。自社と地域のつながりを今一度見つめ直す必要性を強く感じた。

〔報告〕 共に育つ経営研究部会・副部会長
石川大樹／(有)イシカワ



新井俊雄氏

■新会員紹介

芳賀 幸雄 会員

株式会社 COLLABO
代表取締役（宇都宮市）

オフィスデザイン・施工・住宅リノベーション・店舗内装を手がけています。この度、同友会に入会させて頂き、諸先輩方々よりご指導を賜りながら経営に対し貪欲に学び、地域社会に貢献できるよう日々努力をしたいと思います。お待ちしております。



櫻井 仙長 会員

株式会社アール・ティー・シー
代表取締役社長（上三川町）

エレクトロニクス技術を応用した各種機器の研究開発から製造まで一貫したモノづくり事業を展開しております。弊社技術を社会に貢献できる価値に変換し、今後も医療介護・産業機械ロボット分野を中心に広く皆様のご指導を頂ければ幸いです。



■ 栃木同友会に関する資料請求はこちらまで ➡ **FAX 028-612-3827**

貴社名	役職名・氏名	
住所 〒		
TEL	FAX	E-mail

※ご記入いただいた個人情報は、各種ご案内ならびにお問い合わせ対応のみに使用し、第三者への開示は一切ありません。